

神経免疫疾患抗体測定センター

1. スタッフ

植田 光晴 センター長、兼任：脳神経内科学 教授

2. センターの特徴、診療・業務内容

神経免疫疾患の診療、研究の推進を目的として、2015年11月1日に設立された。神経免疫疾患の代表的な疾患としては下記の通りである。

脳・脊髄：多発性硬化症、急性散在性脳脊髄炎、HTLV-I 関連脊髄症、(自己免疫性) 脳炎・脳症など

末梢神経：ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎など

神経筋接合部：重症筋無力症、ランバート・イートン筋無力症候群など

筋：多発筋炎／皮膚筋炎、封入体筋炎など

3. 体制

脳神経内科に所属する教員が兼任し活動している。

4. 活動実績

2023 年度に脳神経内科入院診療にて、ニューロパチー 64 例、重症筋無力症 61 例、多発性硬化症・視神経脊髄炎 40 例、脳炎・脳症 27 例など神経免疫性疾患の診療を行った。

5. 高度先進的な医療の取組

最新の分子標的薬などを活用した治療を提供している。

6. 臨床試験・治験の取組

ギランバレー症候群、CIDP、重症筋無力症に対する新規治療薬の治験に取り組んでいる。

7. 地域医療への貢献

神経免疫疾患患者に関する県内外の医療機関と連携した診療および研究を実施している。

8. 医療人教育の取組

脳神経内科医師だけではなく医療従事者、研修医、学生への神経免疫疾患診療に関する教育、啓発活動を行っている。

9. 研究活動

神経免疫性疾患の病態解析や治療などに関する学会発表や論文発表を行った。